

第2回 六甲山系有馬地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年12月13日(木) 10:00～12:00
2. 開催場所：有馬地域福祉センター 2階会議室
3. 出席者：

【委員】

宮田 隆夫	神戸大名誉教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然(六甲全体)
水野 浩典	神戸市立有馬小学校 校長 (神小研理科部参与)	自然(郷土)
稲垣 健	神戸市立鹿の子台小学校 校長 (前指導課指導主事)	郷土史
藤井 清	有馬温泉郷土史研究者	郷土史
藤木 久幸	有馬川を美しくする会 会長	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

【事務局】

六甲砂防事務所	森東課長、杉浦係長
株式会社エイト日本技術開発	田中、松本、松島、嶋田

4. 配付資料

- 議事次第
- 第2回検討委員会資料(資料①～④)
- 参考資料 冊子「みんなで語り、伝えよう!有馬川物語(案)」、散策マップ(表面:案)、サブノート(案)

5. 議 事

1. 開 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ	
2. 議事		
(1) 第1回検討委員会議事要旨について	・事務局による説明(資料①)	
(2) 本委員会での検討内容・スケジュールについて	・事務局による説明(資料②)	
(3) 冊子に関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料③)	
意見交換	①不思議編について	
	②素晴らしさ編について	
	③安全・安心編について	
(4) 散策マップ・サブノートに関するこれまでの意見と反映概要について	・事務局による説明(資料④)	
意見交換	散策マップ・サブノートについて	
(5) その他、今後の予定について		
5. 閉 会	・六甲砂防事務所 神野事務所長あいさつ	

<冊子の内容・情報に関する意見概要>

主な意見の概要

■有馬三山について

- ・有馬三山について、ハイキングルートや観光マップでは湯槽谷山が含まれている。利休荘からの三山とは異なるが、併せて説明してはどうか。(香西委員)
- ・落葉山の記述について、「白髪の老人が投げた木の葉をたどった」ではなく「白髪の老人からもらった榎(なぎ)の葉を仁西上人が投げた」である。(水野委員)
- ・背山の様子(航空写真)については、もう少し温泉地周辺に拡大し利休荘の位置を図示する。(宮田委員長)
- ・有馬三山の眺めと、背山の様子(航空写真)について方位をあわせてはどうか。(宮田委員長)

■地形・地質等の表現について

- ・模式断面図の凡例について、神戸層群はかたい地層に分類される。また、岩石ではなく、「かたい地層・岩石」と表現してはどうか。(宮田委員長)
- ・文章中に「地面の動き」とあるが「大地の動き」とするほうが適切ではないか。(宮田委員長)

■タイムトラベルについて

- ・2億年を帯グラフで表現したものがあるが、もう少し横に伸ばすなどして現代付近を見やすくできないか。(稲垣委員)

■断層の露頭について

- ・有馬一高槻断層帯の露頭の写真について、影が映っているためわかりにくくなっている。最終的には差替えて頂きたい。(宮田委員長)

■六甲川の流れについて

- ・昔の六甲川の流れについて、もう少し上流へ延長していた。修正いただきたい。(藤井委員)

■有馬川周辺の植物について

- ・掲載されている写真について、逆さになっているものがあるため確認いただきたい。(水野委員)
- ・掲載されている植物のほか、ヤブツバキ、ミヤコザサ、ササユリも特徴的である。(水野委員)

■有馬山植物一斑について

- ・有馬山植物一斑の写真について、現在ではもう少しシワが伸びているため、シワのとれた明るい写真に差替えてほしい。(藤井委員)
- ・その際、スケールがわかるように配慮すること。また、掲載にあたっては、植物が見える大きさとしてほしい。(宮田委員長)

■有馬温泉について

- ・有馬温泉について「三大名泉」や「日本三名泉」と表現されているが、どちらかに統一すべきではないか。また、有馬温泉の記述について、「日本三名泉や日本三古泉と呼ばれています」から「日本三名泉と日本三古泉の両者に名を連ねています」という表現に変更してはどうか。(水野委員)
- ・有馬温泉の泉質について、多くの成分が含まれていることが世界的にも珍しいため、もう少し記述してほしい。(水野委員)

主な意見の概要

■災害について

- ・昭和13年と昭和42年の水害を比較している記述箇所について、「災害対策（砂防事業）が進んだことによって被害が軽減された」という趣旨が伝わるよう内容を再考する。（稲垣委員）
- ・集中豪雨に関する記述の中で、平成18年7月豪雨を「大災害」としているが「大」をつけるべきか検討が必要ではないか。（稲垣委員）
- ・災害の記録に関する文章は特に長文になりやすいことから、もう少しコンパクトにまとめる必要がある。（神野委員）
- ・集中豪雨に関する写真について、注意看板が掲載されているが、都賀川の平常時の写真に差替えた方が、集中豪雨の恐ろしさが伝わるのではないか。（稲垣委員）

■文章及び図の表現について

- ・本文中に「一千万ドルの夜景」という表現があるが、一千万ドルとされている理由も記載してはどうか（現在では、一千万ドルの電気代がかかるということ）。（水野委員）
- ・図中の山名について、複数あって混乱を招くため主要なものに絞るべきではないか。（神野委員）
- ・山の名称については黒字では見えにくいいため、黄色などにしてはどうか。（稲垣委員）
- ・「神戸市と六甲山地の様子」として航空写真が掲載されているが、北から南を向いていることが明確となるように方位（東西）を記載してはどうか。（宮田委員長）

<その他、意見概要>

主な意見の概要

■散策マップについて

- ・白水峡は崩れやすいため登らないよう注意が必要である。（藤井委員）
- ・青色のマップの中央辺りに「北六高台小学校」となっているが、「北六甲台小学校」の間違いでないか。（水野委員）

■サブノートについて

- ・炭窯の写真について、上から覗いた写真へ変更してほしい。（水野委員）

■成果品の配布について

- ・山口町の人から、冊子に興味があるため是非欲しいという話を聞いている。神戸市だけでなく、西宮市にも配布して欲しい。（藤木委員）
- ・事務所のホームページにて誰でも見られるように公開もする予定であるが、当然印刷したものはお配りすることが必要であろうと考えている。（神野委員）

■とりまとめについて

- ・可能な限りで掲載している写真の場所を地図に落としてはどうか。また、歴史・文化については年表に示してもよいのではないか。（宮田委員長）
- ・冊子をまとめるにあたって、文献リストをつけ、出典にを明記する。（宮田委員長）